

強者の戦略

今回の問題は、日本語の「忘れる」や「覚えている」、「思い出す」などに対応する英語表現がそれぞれどのようなニュアンスをもつかの説明を与えた上で、実際にそれらを適切に運用するよう求めるものでした。FORGET と REMEMBER 以外の語の第一義は「忘れる」や「思い出す」ではありませんが、文脈によっては日本語の「忘れる」や「思い出す」の訳語として FORGET や REMEMBER 以外の語を用いる方が適切な場合があります。(A)と(B)で示された語の定義に従って(C)の各文の文脈に最も適した語を選べ、というのが今回の問題の趣旨ですから、「動詞の語法を覚えてさえいれば容易に正答を選べるだろう」と高をくくって(A)、(B)を読み飛ばしてしまった人は途方に暮れてしまったかもしれません。

まずは (A) の内容を確認してゆきましょう。

(A) **FORGET** refers to a general failure to remember something, either because of its unimportance or complexity.

OVERLOOK refers to a failure to notice something or to act, while **OMIT** suggests a failure act in an approved way, or an exclusion of something undesirable. **NEGLECT** suggests a failure to act due to carelessness.

〈訳例〉

FORGET は、重要でないために、あるいは複雑であるために、何かを覚えていないこと全般を指す。

OVERLOOK は、何かに気がつかないことや何かを行わないことを指す。一方、OMIT は、きちんと実行しないことや望ましくないものを除外することを指す。NEGLECT は、不注意のせいで何かを行わないことを指す。

与えられた定義に基づいてそれぞれの単語の特徴を確認してゆきましょう。

FORGET は日本語の「忘れる」の定訳となっていますが、本問の説明でも「何かを覚えていないこと全般 (a general failure to remember something)」を表すとされていて、最も汎用性が高いことが分かります。

OVERLOOK は「気づきそこねたり実行し損ねたりすること (a failure to notice something or to act)」とあります。何かを見落としたこと (それが意図的か否かはともかく) による失敗を表すのだとすると、OVERLOOK は忘れることの中でも特に「うっかり忘れ」をカバーする表現であると言えるでしょう。

OMIT は「きちんと実行しないことや望ましくないものを除外すること (a failure act in an approved way, or an exclusion of something undesirable)」を表すとされています。正規の手順や自分にとって都合の悪い事柄を(わざと?) 無視し、その咎を問われれば「忘れていました」と嘯く…そんなイメージすら漂ってきそうです。但し、辞書などを確認してみると OMIT は意図的かどうかを問わない表現とあります。今回与えられた説明にはどちらのニュアンスで用いるかは特定されていませんが、何を忘れたのかは明記されていますから、そちらに注目して OMIT を用いる文を選択することにしましょう。

強者の戦略

最後の NEGLECT は「不注意のせいで (due to carelessness)」とあることから、意図的ではないことが推測できます (意図的であることが明らかな場合は ignore を用いるのが一般的です)。ただし、carelessness という語がもつ、注意不足や怠慢による過失であるという含みも併せて読み取る必要があります。OVERLOOK がしばしばもつ「うっかり～し忘れる」というニュアンスとの違いに注意が必要です。

続いて、(B) の内容を確認してゆきましょう。

(B) **REMEMBER** indicates the general mental faculty to store or call up memories related to the past, present, or future.

RECALL may indicate either a summoning up of a certain past event, or the effect of something in the present to suggest something similar from the past. **RECOLLECT** suggests rather the leisurely review of multiple memories.

REMIND indicates a deliberate cue to insure that something will be remembered in the future. **RETAIN** points to the staying power of a memory that remains in mind without effort, or the capacity to hold on to facts deliberately memorized. **MEMORIZE** refers specifically to the conscious effort to commit something to memory in exact detail.

〈訳例〉

REMEMBER は、過去や現在、未来に関連した記憶を蓄えたり呼び起こしたりする内的能力全般を指す。

RECALL は、ある過去の出来事を呼び起こすことや、現在のある事柄が過去からそれに類似した事柄を連想させる作用を指すといつてよい。**RECOLLECT** は、どちらかといえば多種多様な記憶を時間をかけて回想することを示唆する。

REMIND は、将来ある事柄を思い出すことを保証する意図的に残された手がかりの存在を示唆する。**RETAIN** は、努力しなくても心に残っている記憶の持続機能や、意識的に記憶した事実をいつまでも覚えておく能力を暗に示している。**MEMORIZE** は、特にあることを正確に細部まで記憶にとどめておこうとする意識的な努力を指す。

REMEMBER は日本語の「覚える」「覚えている」「思い出す」の定訳になっていて、本問の説明でも「記憶を蓄えたり呼び起こしたりする内的能力全般 (the general mental faculty to store or call up memories)」を表すとされています (mental を「内的」と訳したのは、ここでの mental は知性や思考といった高次の知的能力ではなく、自身の内側に働きかける力であることを表すと考えたためです)。より正確に言うならば、**REMEMBER** は「①ある情報を記憶する」、「②その情報を頭の中に留めておく」、「③その情報を無意識下から意識下へと引き出す」の3つの機能を表しています。(B)で示された他の語で、この3つの機能の全てを表せるものではありません。また、**REMEMBER** の対象となる内容は過去／現在／未来のいずれの事柄でも構わないということにも注意が必要です。他の語の中には時制に制約がかかっているものもありますから、他の語と区別する上で重要なヒントとなります。

強者の戦略

RECALL は、「ある過去の出来事を呼び起こすことや、現在のある事柄が過去からそれに類似した事柄を連想させる作用 (a summoning up of a certain past event, or the effect of something in the present to suggest something similar from the past)」を表しています。これは、REMEMBER における「③情報を無意識下から意識下へと引き出す」機能に対応しています。但し、思い出す内容が過去の事柄に限定されているという点で REMEMBER と異なります。

RECOLLECT は「③情報を無意識下から意識下へと引き出す」機能を表し、思い出すのは過去の事柄であるという点では RECALL と同じですが、「多種多様な記憶を時間をかけて回想すること (the leisurely review of multiple memories)」を含意する点が他の語と異なります。

REMIND は、説明文には思い出す内容や機能についての言及はありませんが、「将来ある事柄を思い出すことを保証する意図的に残された手がかり (a deliberate cue to insure that something will be remembered in the future)」、つまり思い出す契機となるものが存在することを表しています。ちなみに、機能で言えば「③情報を無意識下から意識下へと引き出す」に対応しています。

RETAIN は、RECALL や RECOLLECT、REMIND とは異なり、「②情報を頭の中に留めておく」機能を表しています。RETAIN が REMEMBER と異なるのは、「努力しなくても心に残っている記憶の持続機能や、意識的に記憶した事実をいつまでも覚えておく能力 (the staying power of a memory that remains in mind without effort, or the capacity to hold on to facts deliberately memorized)」に言及している点です。RETAIN は、もはや忘れることのない定着した記憶を思い出すことを意味すると考えると良いでしょう。

最後の MEMORIZE は、「①ある情報を記憶する」機能に対応しています。「あることを正確に細部まで記憶にとどめておこうとする意識的な努力 (the conscious effort to commit something to memory in exact detail)」を含意している点が、REMEMBER との違いとなります。

以上を踏まえた上で、(C)の各文の空所に入る適語を吟味してゆきましょう。空所の前後の内容から考えて FORGET 系なのか REMEMBER 系なのか、そしてその（忘れる／覚える）内容にどのような含意が込められているかに特に注意しましょう。語法だけに頼ってはいけない旨を冒頭で話しましたが、語法の観点を無視してもいけませんので悪しからず。

1. I have always found it difficult to () to renew my driver's license during my birth month.

〈訳例〉

私はいつも自分の誕生日に自動車免許を更新することを () に困難を覚えている。

強者の戦略

語法の観点から見ると、空所に入る動詞は目的語に不定詞 (to renew ~) をとり、内容面から見ると REMEMBER 系で、しかも「②情報を頭の中に留めておく」ことを表すと考えられます。機能だけで考えれば MEMORIZE も候補に入りそうですが、この語は不定詞を目的語に取ることはできません (踏み込んで言うなら、この語が目的語にとるのは言葉や音楽、記号などです)。従って、1.の空所に入れることができるのは REMEMBER のみとなり、原形 V の「remember」が正解となります。remember to V 「(これから) V することを覚えている」は成句として頭に入っていると思いますが、memorize の語法についても併せて押さえておきましょう。

(念のための確認ですが、1.に forget が入らない理由は分かりますか？ 語法的には forget to V 「(これから) V することを忘れる」と目的語に不定詞をとることが可能ですが、「私はいつも自分の誕生日に自動車免許を更新することを忘れるのに困難を覚えている。」という文が、日本語として不自然なことはもちろんですが、英語的にもおかしいとされる理由が分かりますか？ 自分の手持ちの英和辞典で、forget の項目を是非調べてみてください。意識的にあることを忘れる (考えるのをやめる) ことを表す際に動詞 forget が使えるのか、もし使えるのなら、不定詞を目的語にとることができるのか (別の言い方をすれば、忘れる内容が発話時点よりも先のことであっても良いのか)、確認してみてください。最近の英和辞典の中には、こういう問いにちゃんと答えてくれるものも少なくありません。)

2. I was shocked to find how terribly they had () to take care of the garden which was once so beautiful.

〈訳例〉

私は、かつてはとても美しかった庭を世話をすることを彼らが () ことがいかにひどいことかがわかりショックを受けた。

語法の観点から見ると、空所に入る動詞は目的語に不定詞 (to take ~) をとり、内容面から FORGET 系であることが分かります。(A)で紹介された動詞の中で、目的語に不定詞をとることができるのは FORGET と OMIT、そして NEGLECT です。残る決め手はそれぞれの動詞に込められた含意ですが、「きちんと実行しないこと (a failure act in an approved way)」を表す OMIT と「不注意のせいで何かを行わないこと (a failure to act due to carelessness)」を表す NEGLECT を比べると後者の方が適切のように思えますが、断定する根拠としては物足りないように思えます。また、FORGET を空所に入れても文意は成り立ちますから、一旦保留にしておきましょう。

3. The view () to him the fishing village he had stayed in during the war.

〈訳例〉

その光景を見て彼は戦争中に滞在した漁村のことを ()。

強者の戦略

空所に入る動詞が REMEMBER 系で「③情報を無意識下から意識下へと引き出す」機能を表していることは容易に想像がついたと思いますが、主語が人ではないことに戸惑ってしまったかもしれません。いわゆる無生物主語構文ということになりますが、その可能性を示唆する説明文があったことにあなたは気づいたでしょうか。RECALL の項目に、「現在のある事柄が過去からそれに類似した事柄を連想させる作用 (the effect of something in the present to suggest something similar from the past)」という記述があり、眼前にある「その光景 (The view)」が「漁村 (the fishing village)」の記憶を呼び起こしたと考えれば、この説明に合致します。従って、答えは「**recalled**」となります。関係詞節内に過去完了形の動詞があるため、過去形にするのを忘れないよう注意しましょう。なお、無生物主語構文をとれるという意味では REMIND も候補として浮上してきます。ですが、remind は remind A of B の形をとるのが基本ですから、語法の観点から REMIND の可能性を切ることができます。

4. They have () from the report any mention of the scheme's difficulties.

〈訳例〉

彼らはその報告書からその計画の問題点に関する言及を ()。

空所の直後にある前置詞句 (from the report) は挿入句なので、その後ろの any mention を目的語とする他動詞が空所に入ることになります。空所の直前に have があるので過去分詞形が空所に入ること、内容から FORGET 系の動詞が入ることも察しがついたと思います。FORGET は万能選手なのでつい入れたくなりますが、FORGET 以外に入る候補がないかを検討しましょう。4.で忘れられるのは、「その計画の問題点に関する言及 (any mention of the scheme's difficulties)」であり、「望ましくないものを除外すること (an exclusion of something undesirable)」を含意する OMIT が候補として浮かんできます。保留した 2.と違って OMIT を選ぶ積極的理由があるわけですから、これを過去分詞形にした「**omitted**」を正解として構わないでしょう (綴りは大丈夫ですか? 英文を手を動かして書く習慣がついていないと思わぬ減点を食らってしまうことがありますから注意して下さい)。

5. He wrote a note on his calendar to () himself of their luncheon date.

〈訳例〉

彼は彼らの昼食会の日付を () ためにカレンダーにメモを書いておいた。

空所の後ろが「**himself of their luncheon date**」となっていることから即断できそうですが、内容面でもカレンダーのメモが「将来ある事柄を思い出すことを保証する意図的に残された手がかり (a deliberate cue to insure that something will be remembered in the future)」に該当しますから、やはり「**remind**」が正解となります。強者を志す人にとって、remind A of B 「A に B を思い出させる」は今更指摘されるのも恥ずかしいレベルの成句だと思います。

強者の戦略

6. The young detective carefully examined the room for clues, but he () one very important piece of evidence.

〈訳例〉

その若い探偵は手がかりを求めてその部屋を注意深く調べたが、彼はとても重要な証拠を1つ ()。

空所に入るのが他動詞で過去形になること、内容的に FORGET 系になることはもちろんですが、接続詞 but も大きなヒントを与えてくれます。but で結ばれた2文は対比的な内容になる筈ですから、「注意深く調べた (carefully examined)」ことと対比をなす語を選ぶとすれば、「気づきそこねたこと (a failure to notice something)」を含意する OVERLOOK か、「不注意のせいで実行しないこと (a failure to act due to carelessness)」を含意する NEGLECT が候補として浮かんでくるでしょう。日本語で (正確には日本語訳で) 考えてしまうと OVERLOOK も NEGLECT も大差ないように見えます (どちらも「見落とした」と訳せそうです) が、ここで NEGLECT を選ぶことはできません。というのも、NEGLECT は but の前にある carefully と論理的に矛盾してしまうからです。先に述べたように、NEGLECT は不注意や怠慢による失敗を表しますから、もし空所に「neglected」が入るならば、「その若い探偵がその部屋を注意深く調べた (The young detective carefully examined the room)」というのは、実際には carefully ではなかったという点で虚偽ということになります (或いは neglected の方が間違っていることになります)。「トムは部屋を出て行ったが、彼は部屋にとどまっていた。(Tom went out of the room, but he remained in the room.)」という文が抱えるおかしさと同じ種類のものが、6.の文に「neglected」を入れると生じてしまう、と言えば多少は分かりやすくなったでしょうか。一方、「うっかり～し忘れる」というニュアンスをもつ OVERLOOK は carefully と矛盾しませんので、これを過去形にした「overlooked」が正解となります。

7. By gradually () his own happy past in bits and pieces, the old man was able to overcome his present despair.

〈訳例〉

自身の幸せだった過去を断片的にはあるが徐々に () ことによって、その老人は現在の絶望を克服することができた。

内容的に REMEMBER 系で、「徐々に (gradually)」と「断片的に (in bits and pieces)」を伴うことから、「多種多様な記憶を時間をかけて回想すること (the leisurely review of multiple memories)」を含意する RECOLLECT に候補を絞ることができるでしょう。空所の直前に前置詞 by があることから、動名詞にした「recollecting」が正解となります。

強者の戦略

8. She () all about the gossip as soon as she reported it.

〈訳例〉

彼女はその噂話を報告するとすぐにそれを全部 ()。

空所が過去形になること、内容的に FORGET 系であることは容易に察しがつきますが、FORGET 以外の語が入る余地はどれほどあるでしょうか。何かに気づきそこねたり何かを実行しそこねたりしているわけではなさそうですし (OVERLOOK)、何かをきちんと実行しなかったり望ましくないことを除外したりしていることは窺い知れませんし (OMIT)、不注意のせいで忘れてしまったと断定するに足る要素もありません (NEGLECT)。以上から、特別な含意を込めることなく用いることのできる FORGET を充てるのが妥当と判断できるでしょう。正解は「forgot」となります。そしてここまで来れば、2は「neglected」が正解だと自信をもって断言できます。

9. A test is being developed to show the degree to which people () memories unconsciously.

〈訳例〉

人々が無意識のうちどの程度記憶を () かを示すテストが開発中である。

消去法的にいくなら、残る選択肢は RETAIN と MEMORIZE です。両者の違いは、ズバリ「意識」。「努力しなくても心に残っている記憶の持続機能 (the staying power of a memory that remains in mind without effort)」に言及しているのが RETAIN で、「あることを正確に細部まで記憶にとどめておこうとする意識的な努力 (the conscious effort to commit something to memory in exact detail)」を含意しているのが MEMORIZE です。9には unconsciously という語が含まれていますから、「retain」が正解となります。

10. Actors are usually good at () their speeches quickly.

〈訳例〉

ふつう俳優は自分のセリフを素早く () のが得意である。

残る選択肢は MEMORIZE のみですが、こちらは 9.と違って意識的な努力を含意していますから、動名詞にした「memorizing」が正解と考えて良いでしょう。

強者の戦略

以上で、全ての選択肢が埋まりました。最後に、空所を埋めた英文と、その英文が模範解答となるように作成した英作文問題を紹介したいと思います。単に 1.~10.の英文の和訳を改変しただけのものですが、定着度の確認を兼ねて挑戦してみてください。但し、10個の動詞はちゃんと使い分けて下さいね。

1. I have always found it difficult to remember to renew my driver's license during my birth month.

私はいつも自分の誕生日に自動車免許を忘れずに更新することに困難を覚えている。

2. I was shocked to find how terribly they had neglected to take care of the garden which was once so beautiful.

私は、かつてはとても美しかった庭を世話をすることを彼らが忘れていたことがいかにひどいことかがわかりショックを受けた。

3. The view recalled to him the fishing village he had stayed in during the war.

その光景を見て彼は戦争中に滞在した漁村のことを思い出した。

4. They have omitted from the report any mention of the scheme's difficulties.

彼らはその報告書からその計画の問題点に関する言及を省いていた。

5. He wrote a note on his calendar to remind himself of their luncheon date.

彼は彼らの昼食会の日付を思い出すためにカレンダーにメモを書いておいた。

6. The young detective carefully examined the room for clues, but he overlooked one very important piece of evidence.

その若い探偵は手がかりを求めてその部屋を注意深く調べたが、彼はとても重要な証拠を1つ見落とした。

7. By gradually recollecting his own happy past in bits and pieces, the old man was able to overcome his present despair.

自身の幸せだった過去を断片的にはあるが徐々に回想することによって、その老人は現在の絶望を克服することができた。

8. She forgot all about the gossip as soon as she reported it.

彼女はその噂話を報告するとすぐにそれを全部忘れた。

9. A test is being developed to show the degree to which people retain memories unconsciously.

人々が無意識のうちどの程度記憶を保持しているかを示すテストが開発中である。

10. Actors are usually good at memorizing their speeches quickly.

ふつう俳優は自分のセリフを素早く記憶するのが得意である。

強者の戦略

問 次の日本語を英語で表せ。ただし、下記の動詞を1問につき1語ずつ、適切な形に変えて使用すること。なお、選択肢の動詞は1回しか用いてはならない。

【選択肢】

forget / overlook / omit / neglect / remember / recall / recollect / remind / retain / memorize

1. 私はいつも自分の誕生日に自動車免許を更新するのを忘れてしまいがちで困っている。
2. かつてはとても美しかったその庭が、世話をするのを忘れられてひどい有様になっていることに私はショックを受けた。
3. その光景を見て、彼は戦争中に滞在した漁村のことを思い出した。
4. 彼らはその報告書の中でその計画の問題点に関して言及をしないでおいた。
5. 彼は彼らの昼食会の日付を忘れないようにカレンダーにメモを書いておいた。
6. その若い探偵は手がかりを求めその部屋を注意深く調べたが、とても重要な証拠を1つ見落とっていた。
7. 自身の幸せだった過去を断片的にはあるが徐々に思い出してゆくことで、その老人は現在の絶望を乗り越えることができた。
8. 彼女はその噂話を知らせるとすぐにそれを全部忘れてしまった。
9. 人は無意識のうちに一体どの程度記憶しているのかを明らかにするテストが開発中である。
10. ふつう俳優は自分のセリフをあっという間に覚えてしまう。

それでは、今回はこの辺で。また次回お会いしましょう。